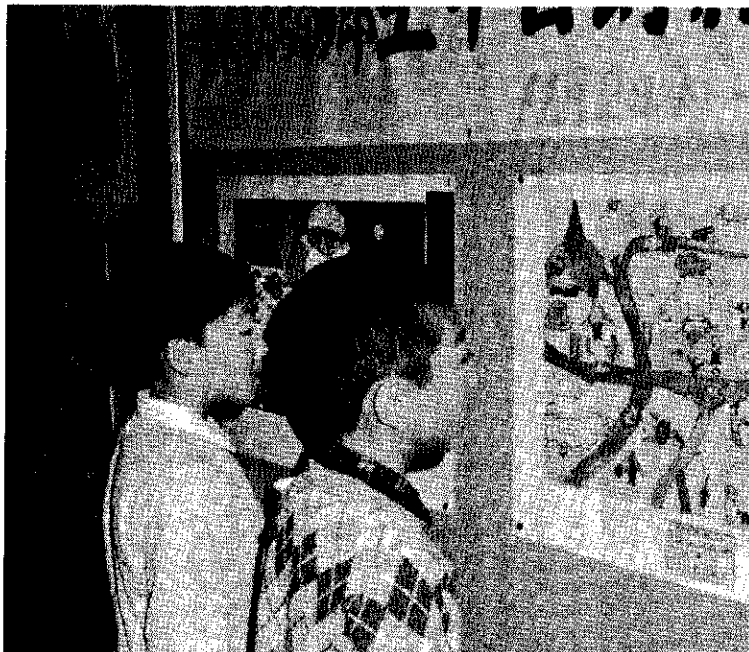




而立の年を祝う

11月3日：市制施行30周年記念式典を挙

晴天に恵れた去る11月3日、「十日町市市制施行30周年記念式典」がクロス10大ホールで盛大に行われました。

700人が出席した式典では、30周年を節目として、さらなる発展を誓い合い、市政特別功労者を表彰。第2部の市民のつどいでは、北越保育園鼓笛隊、十日町小学校合唱部、吉田小学校あすなろ太鼓クラブの皆さんが成果を発表し、さかんな拍手を受けていました。また、クロス10内では、琴の演奏・抹茶サービス、小中学生絵画展、アマチュア無線公開運用、菊花・焼物展などが多彩に行われ、式典を盛りあげました。



アピール宣言



此度、雪対策と取り組んでいる市関係者が十日町市に合し、二十世紀に向けて、豪雪地帯の発展を切り拓く足掛かりとするため、克雪の原点に立ち返って真剣な討議を重ねた。

我々は、先ず何よりも、今日までの各地において培い育てて来た住民参加による除雪活動の保持・発展させる事の重要性を再確認した。住民と自治体が一体となり、除雪作業においても、費用負担についても、それぞれ役割と分担を果たし合うという方式こそ、克雪対策の基本となるものである。

しかし、昨今、社会経済環境の変化と複雑化が目まぐるしく、より安全性の高い、機能性に富む都市サービスへの要請は日々迫って顕著となっている。その為には地域ぐるみ除雪活動の新たな展開を支持する都市のハードおよびソフトを整備してゆくことが急務である。熱心な討議の結果を踏まえ次の諸事項を訴えるものである。

一、雪に対する、市街地の面的強化を図る為、路面を構成する幹線道路については、①除雪及び地雪余剰の確保②凍雪溜・消雪パイプなど地域の特長に合った除雪雪施設の整備について抜本的に見直し、それらの基準及び補助事業の拡大について早急に検討を進めるべきである。

二、右に加え、住宅の耐雪化、減ベイス率、容積率などに係る規制緩和、雪捨て場としてのオーブンスペースの設置など、地域の特性に応じたモデル計画づくりを、豪雪地帯全域において推進し、国は、これら事業手法の組合せによって構成される防雪街区（仮称）の制度変化を急ぐべきである。

三、除雪において、高効率化、コスト低減、省力化を達成するには水の活用がベストである。国・自治体・水関係者は、水の活用による除雪工法の安定的駆使のため、冬期利水に雪対策用水を明確

に位置づけるべきである。また国は、流雪溝と雪対策用水について、その揚水・導水・配水など利水における大規模な諸施設についても補助制度を創設すべきであり、治山・治水・農業、電気関係などの各種事業の推進に当たっては、雪対策用水確保事業との統合・一体化を促進すべきである。

四、豪雪地帯は、産業振興、雪対策など、資源として水を最大限に利用する権利を自ら保有する。従って、水の循環を通じて、運命共同体をなしている河川流域内の自治体・関係団体、住民は、流域の繁栄と安定を目指し、水資源の活用について協議のテーブルにつき、上流の一体化を図るべきである。

五、これまで、雪対策の主体は国・自治体・住民であったが、経済社会の変動に対応し、より適切迅速に対応するために、民間資金活力及び民間技術開発力の参

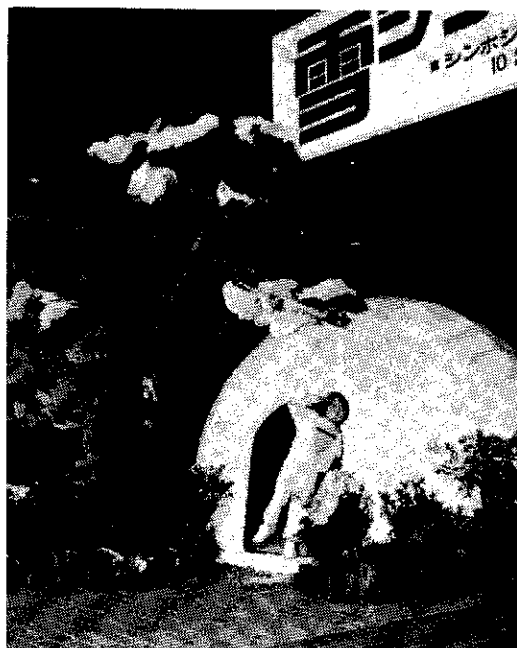
入について積極的に促進すべきである。

六、住民参加による克雪の基本である。従って、豪雪地帯においては、地域の特長に応じて、地域ぐるみ除雪活動のリーダーの育成並びに活動計画を策定し、その運用についてのルールづくりを早急に推進すべきである。

国土面積が狭小にして、資源に乏しい我が国が二層の発展を約束されるためには、多くの山岳と豊富な水資源を有する豪雪地帯の役割と位置づけは、今後一層重要性を増すものと確信する。雪国の明日の未来を切り拓くために、以上諸点について、関係機関、関係各位の深き理解と強力な協力を強く要するものである。

昭和五十九年十一月十六日
豪雪地帯の明日の百年を切り拓く、全国雪シンポジウム実行委員会
会長 諸里正典

全国雪シンポ 技術博に 雪国の新しい



の雪国全体の発展に大きなインパクトを与えるものと評価されています。

アピール宣言の中にある「克雪の原点に立ち返った」このイベントは、雪国のあすをきり拓くために、「克雪」への力強くそして新しい出発点と考えたいものです。

基調講演①

豪雪対策と

克雪用水確保

前国土庁水資源局長

堀 和 夫氏

タテ割り行政が克雪対策を遅らせている。雪を考えない水対策はあつてはならない。地域で利用できる水量の把握と克雪用水としての活用方法の研究を進めなければならない。

一月から三月の渇水期対策が重要でダムや農業用水などコス

パネルディスカッション

『豪雪対策の事業化をいかに進めるか』

パネルディスカッション「豪雪対策の事業化をいかに進めるか」は、二日目の午後から土屋

雪蔵氏（北陸建設弘済会専務理事）をコーディネーターとして、提言者五名、コメンテーター六

名で活発な意見が交わされました。各氏の主な発言内容は次のようなものです。

【提言者】

三上惣平氏（国土庁山村豪雪地帯振興課長）地域隔差が解消されていない状況で、冬期道路交通確保、消融雪施設の問題は重点といえるもの。流雪溝の効果的利用、整備、運用などについて、住民の役割分担と積極的な参加による地域づくりを。

栗山弘氏（科学技術庁雪害実験研究所長）簡単に安い除雪法は難しい。水の利用方法を三つ提言したい。水不足地域では循環方法を。消パイの使用水を流雪処理用水に。もうひとつは屋根雪処理の水として利用。流雪溝を、中間手段とした処理法に。

依田和夫氏（建設省都市局路課長）スノーリゾート事業は全国九都市で実施し総合的克雪対策の一環として街路事業を行うもの。幹線道路の三車線化、電線類の

トを考慮して総合的な運用を。またカナダのケベックなどと国際的な克雪技術の交流を。日本海と雪は切っても切れないので日本海の研究をする機関を作るべきだ。

基調講演②

雪に強い
地域づくりの将来展望前建設省道路局長
道路防災対策室長

和田 惇氏

道路は物を運ぶベルトコンベア。五六豪雪では四百五十億、

また雪が明日どのくらい降るのか、いつ頃雪おろしをししたら良いのかなど情報対策に力を入れ、雪国のデータバンクを作ることが大切。

技術に大きな関心

技術博覧会 ～

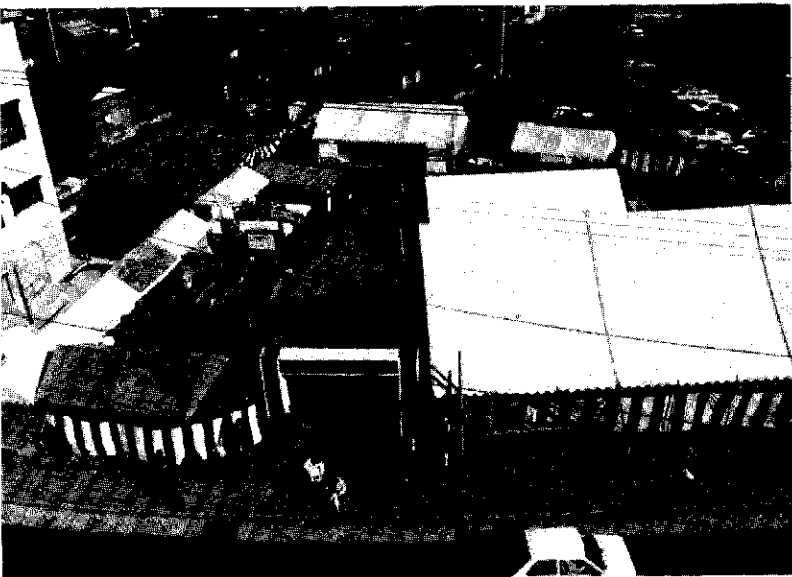
雪の技術展・実演コーナー

▼十日町発明協会のコーナー



屋根雪処理技術・道路融雪技術など最新の雪に関する技術が大集合

▼実演会場



雪国を守る鉄道展



雪に強い自動車展



地中化など他事業のかね合いを検討し、雪に強い街づくりを推進したい。

志村博康氏（東大農学部教授）農業用水の活用として運用することについての大きな問題は、水利権制度。地方都市が農業用水を使うためには新たに水利権の設定が必要で、共用という方向で可能ではないか。

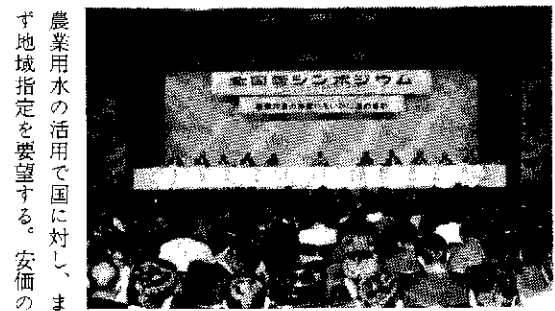
倉島収氏（建設省北陸地方建設局企画部長）雪に強い道路をネットワーク的に整備することが雪対策の王道。人命が多く奪われている雪崩にも基本的対策が必要。防災害区を指定し制度化

することを五六・五九豪雪の体験から提案したい。

「コメンテーター」

大矢良広氏（新潟日報論説委員）雪は社会的、自然的災害である。災害予防のため、幹線道路を三車線に。流雪溝整備も河川改修と同じ視点で。電線の地下埋設を市民の立場から要望したい。さらに地中化については一歩進めてスノーピア事業に盛り込めないだろうか。

天城幹郎氏（前新潟県土木部技監）市民グループが歩道除雪計画をもつ自治体に国の助成を。住民意識の高揚にもなる。また



水の調査から、法的な問題等も出て来るが……。

中俣三郎氏（新大工学部助教授）雪崩の危険区域の設定は難かしいが、雪崩の性格もつかみにくい。実験などを通じ研究を進めるが、住民の皆さんの資料、協力も不可欠なもの。

高杉嘉雄氏（県土木部道路維持課長）道路基準の構造見直しを中央省庁にお願いする。雪崩対策も完全整備までに四十～五十年かかる予算である。格別の配慮を願いたい。

県では現在、歩道除雪を試験的に行っているがモデル地区の指定など優先的除排雪を行った方がよい。

鈴木哲氏（新大工学部助教授）除雪技術には三つ。大技術（除雪機械）中技術（流雪溝）小技術（コスキ）でそれぞれの性格は異なる。住民が参加（協力）するため、水防、消防に公償制度があるように雪についても補償制度を考える時期。善意に頼るのは将来発展は不可能。

石川允氏（長岡技大教授）スノーピア構想に防雪街区造成事業を。除雪の負担はだんだん巨額になり、いずれは法体制（例整備になる。歩道管理、事故補償

指定など優先的除排雪を行った方がよい。

土屋雪蔵氏（第一日目の討議では、雪国の伝統的な住民参加で雪対策が続けられて来た」ということを受け、このパネルディスカッションで、さらにそれらを発展させることが克雪の基本姿勢であることを確認した。水の利用、屋根雪処理、除雪体制、雪崩対策など雪国の克雪対策全てについて大切なことは、これで終わることなく、より継続的にアフターケアを関係方面に働きかけ具体化してゆくことである。

第四回
克雪フェアも
多くの市民が参加



企画集団バリバリのバラエティショー
(市内ではめずらしい、ファッションショーも)



▼交通安全の紙芝居



雪をテーマに
服飾専門学校も参加▶



▲今冬の積雪の予想は……?

新時代への「克雪」

～ 大盛況だった

屋内展示・克雪とニューメディア

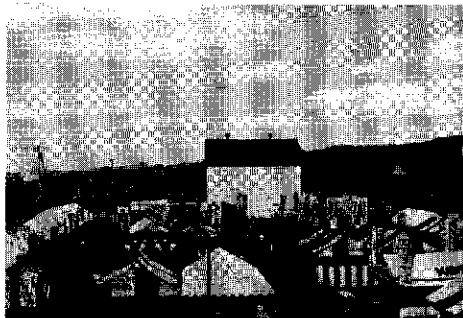
話題のキャブテンシステムやテレビ電話も登場。子どもたちに大人気でした



建設省の除雪・防雪施設の模型

小型 * 除雪機械 * 大型

各会場の中でも賑わいをみせていたのが小型除雪機械。
▼屋根の上にもってあがれるものに人気があったとか……



▲狭い会場に雪国の幹線道路を守る大型の除雪機械が整列。そばに近寄るだけでも、かなりの迫力でした。



祝 十日町市制施行30周年記念式典

〈特別功労者〉前列左から、小林由弘、池田作三、斎木正義、石坂正隆、(市長)、春日由三、丸山尚政、関口愛吉、青柳兵蔵、島田金一郎、極熊良作、後列左から(教育長)、(収入役)、故古沢亮(代理)、岩田七郎(代理)、故鈴木智(代理)、廣瀬辰夫、山谷集団栽培組合代表丸山良一、春日忠吉、丸山松平(代理)、関口芳春(代理)、(助役)の各氏

式典で特別功労者を表彰

市制施行30周年を記念して、市勢発展のために多大な功績を残されたつぎの1団体・17人が特別功労者として、11月3日の記念式典において表彰されました。

〈敬称略〉

●自治功労者

●春日由三(東京都・72歳)

昭和四十六年に市長就任以来、二期八年にわたって市の発展のためにつとめた。

●池田作三(田川町・62歳)

春日市長時代に助役に就任以来、十一年にわたって市の発展のためにつとめた。

●極熊良作(中町・64歳)

春日市長時代に収入役に就任以来、八年にわたって市の発展のためにつとめた。

●石坂正隆(昭和町三・76歳)

十日町市議会議長として市の発展のためにつとめた。

●丸山尚政(水沢第二・62歳)

十日町市議会議長として市の発展のためにつとめた。

●斎木正義(南鑑坂・58歳)

十日町市議会議長として市の

発展のためにつとめた。

●教育・文化功労者

●小林由弘(水口・69歳)

昭和五十一年から教育長として、また昭和五十七年からは教育委員長として市の教育振興につとめた。

●産業功労者

●関口芳春(山本町五・62歳)

十日町織物工業協同組合理事長としてすぐれた指導力を発揮し、十日町を全国屈指の総合産地にするためつとめた。

●青柳兵蔵(栄町・72歳)

十日町織物工業協同組合理事長として低成長時代に積極的な産地振興策を打ち出し、産地の活性化をはかるためつとめた。

●関口愛吉(本町二・82歳)

十日町織物産地買継商業組合理事長として同業者の指導育成につとめられ、業界の秩序ある発展に貢献された。

●島田金一郎(神明町・77歳)

十日町織物産地買継商業組合理事長として同業者の指導育成につとめられ、業界の秩序ある発展に貢献された。

●丸山松平(稲葉・77歳)

十日町商工会議所会頭として、また十日町市観光協会副会長、新潟県建設業協会十日町支部長などとして幅広く市の発展のためにつとめた。

●岩田七郎(本町七・68歳)

十日町シルク農業協同組合連

合会副会長として、蚕糸絹業地域総合開発推進事業(シルクコンビナート構想)の実現のためにつとめた。

●山谷集団栽培組合(代表：丸山良一)

農業構造改善事業後、市内きつての近代農業を展開し、地域の労働力の有効活用により生産費の低減をはかり農家経済の安定のためにつとめた。

●福祉功労者

●春日忠吉(樽沢・74歳)

昭和二十七年から五十九年まで三十五年間にあたり、保護司として福祉向上につとめた。

●保健衛生功労者

●鈴木智(故人)

十日町病院長として二十六年間、また十日町病院名誉院長として地域医療の向上のためにつとめた。

●廣瀬辰夫(北原・68歳)

昭和二十七年から現在まで中条病院長として、また昭和二十九年から現在まで国民健康保険運営協議会委員として地域医療の向上のためにつとめた。

●防災功労者

●古澤 亮(故人)

消防団員として防災につとまれ、特に昭和五十八年台風十号の水防活動では被害を最小限に食い止めるため自らの生命を省みずけん命な活動を行われた。

芸術文化の振興を熱心に討論

◆十一月一日の市民と語る日◆

十一月の市民と語る日は、市の重点課題をテーマにした七回目として、「芸術・文化の振興策を考える」座談会を、十六人の市民の皆さんが出席して開催しました。

座談会は、芸術・文化の振興について、ハード面とソフト面に分けて進められ、ハード面での施設整備では、「文化会館建設にあたっては十分調査研究を行い、特色ある施設を」「図書館には従来のイメージを変え、情報機能などをとり入れたら」「こども号の更新を」などが出されました。ソフト面では、「文化活動振興のため、文化協会を設立すべき」「社会教育指



市議会の動き

十日町市総合計画基本構想の見直し案を原案可決

(第4回臨時会)

市議会第四回臨時会は、十月二十二日に招集され、議案二件、請願三件、意見書一件が審議されました。

結果は、次のとおりです。

◎議案関係

。人権擁護委員候補者の推薦：十一月三十日付任期満了に伴うもので、中林秀一郎氏の推薦に同意

◎意見書関係(原案可決)

。人事院勧告完全実施に関する意見書

幼稚園・保育所に関する行政施策の答申に対する市長方針(抜粋)

●幼稚園について実施する施策

1. 施設の配置と規模

●答申(保育行政検討委員会の答申をいう)では、昭和67年度を期限として、公立水沢保育所を学校法人立水沢幼稚園に転用するとしているが、当面は現状を固定する。

(理由) ①国において幼稚園が設置され、3カ年を目途に、幼児問題を含めて今後の教育要望が答申され、それに基づいて国の方針が定められるものと予測される。

②水沢地区においては、新企業の進出などにより就園率の向上が推測される。

2. 施設の運営体制

●各施設の定員については、入園児童数の実態に即したものに、その適正化をはかるよう行政指導を行う。

●各施設について、経営効率をより高めるよう行政指導を行う。

●行政は、各施設について財政援助を継続する。

(内容) ①施設整備費の償還金について、元金の2分の1、利子の4分の1の助成を、現行どおり継続する。②就園奨励費は、現行どおり継続する。

●認可保育所について実施する施策

1. 施設の配置と規模

●定員120名(在園児童数52名)で開設された公立十日町保育所と、定員90名(在園児童数84名)で開設された私立十日町幼稚園を統合し、民間(社会福祉法人)経営とする。

※統合の前提として、現在の十日町保育所の位置に施設を移築し(現在、双方の施設とも改築を迫られている)、保育活動の充実をはかる。

この実施にあたっては、双方とも今後の折衝・協議を要する事項であり、十日町幼稚園側で市長方針を受け入れられるよう、行政として最善の努力をする。もし受け入れていただけない場合には、改めて、その時点で市長方針を提示する。

●公立北原保育所は、公立保育所として存続する。

※ただし、入所児童数が45名(常設認可保育所最低基準)を下まわった場合、または保育定数が4名を割った場合は、1カ年を経過した後、私立中条保育園あるいは公立下条保育所と統合する。

●公立下条保育所は公立保育所として存続する。

※ただし、入所児童数が45名を下まわった場合、または保育定数が4名を割った場合は、1カ年を経過した後、公立北原保育所と統合するか、園教員の答申と国の方針によっては、民間の幼稚園に経営を同化することについて検討する。

●公立保育所の定員を実態に即したものに適正化をはかる。

①水沢保育所は130名を120名とする。

(昭和60・4・1)

②川治保育所は120名を80名とする。

(昭和61・4・1)

③金山保育所は90名を60名とする。

(昭和61・4・1)

④十日町西保育所は20名を90名とする。

(昭和61・4・1)

⑤新しく統合された十日町保育園(仮称)の定員は90名とする。(昭和61・4・1)

●私立保育園の定員を実態に即したものに適正化をはかる。

●私立保育園については、十日町幼稚園を除いて現行施設数7・定員数630名(在園児童数600名)を昭和61年4月1日を目途に、施設数7・定員数610名に適正化をはかるよう行政指導を行う。

2. 施設の運営体制

●新しい保育需要に対応し、運営の合理化と保育内容の充実をはかる。

①延長保育体制の整備…現在、公立認可保育所では午後5時までの延長保育を実施しているが、今後は私立認可保育所も延長保育体制の統一した整備をはかるため、段階的に行政指導を行う。

②乳児保育体制の整備…乳児保育実施施設として体制を整える認可保育所を当面次のとおり指定し、地域ブロック単位で実施するよう指導する。

●十日町地域…北越保(既設) いずみ保(既設) 中条地域…中条保(新設) 四日町保(新設) 下条地域…下条保(新設) 川治・六箇地域…高山保(新設) 越光保(既設) 水沢地域…森の保(新設)

③障害児保育体制の強化をはかる。

④認可保育所において育児相談事業を実施する。

●私立保育所に対する財政援助については一部はこれを継続し、一部は新規にこれを行う。

(内容) ①法人委託料については現行どおり継続する。②改築後の私立認可保育所については、改築後の借入金償還に対する原資の繰出が極めてむずかしい状況にあることが、最大の経営圧迫の要因になっている。この実情を考慮し、十日町地区における現行の認可保育所5カ所を4カ所にすることを前提として、新たに、民間施設整備費として社会福祉振興会からの借入金の残額について、元金利子とも全額を財政援助し、これを償還する。なお、改築を前提とした十日町保育園についても同様の処置とする。③新しい保育需要(延長保育、乳児保育、障害児保育、育児相談)に対応するため、新規に発生する費用については、その施設の設置費について、これを財政援助の対象とするものとし、経常経費については、延長保育事業について保育の超過勤務手当の一部を財政援助する。

3. 幼稚園・保育所の運営・調整について

●幼・保の運営の円滑化をはかるため、昭和60年度中に運営調整会議を発定する。

●幼稚園・保育所の入所見募集期間を統一する。

4. 保育料について

●認可保育所の保育料については、費力円滑に基づく現行の体制を継続する。

●認可保育所の保育料については現行の軽減措置を継続する。

保育行政の 市長方針を発表

諸里市長は、11月1日の定例記者会見で、保育行政施策について左記の方針を発表しました。



市長方針を発表するにあたって

十日町市長 諸里正典

去る7月25日、保育行政検討委員会から今後の行政施策につきまして、市長宛の答申がなされました。早速、答申の内容について、市議会の皆さんにご説明申し上げ、9月1日の市民と語る日には、幼稚園、保育所の関係者並びに父母の会の皆様からご意見を聴取致しました。更に、父母の会から出された請願について、議会でも異例ともいえる熱心な討議がなされ、議会の意志も充分に承知することができました。また、保育所廃止反対の運動も原の火の如く拡がり、16,000名におよぶ市民各位の署名も、私の手元に届けられました。

私は、それらの経緯を充分に踏まえ、議会や市民の意見を尊重しながら、慎重に熟慮した結果、市長方針を発表させて頂きました。市長は行政を担当する最高責任者として、「福祉の後退はさせてはならない」ということと、「財政負担を軽減し、税金の無駄使いは無くさねばならない」という、双方をできる限り整合させてゆかねばならないという責任を負っております。

現実の問題として十日町市の認可保育所は大半が定員割れを生じております。その結果、各施設とも施設運営は困難となり、経営状況は極めて深刻な事態に陥っております。現在の認可保育所の在園児数は定員に比して、約370名減っており、これは90名定員の保育所が4カ所余剰ということでもあります。このため、市では皆様の尊い税金である市町村民税の約10パーセントをこの赤字補てんのために充当しており、今後さらに、新生児数は減少基調にあり、施設運営は一層困難となる事は必至であります。

もし、ここで何らの手も打たず、このまま放置すれば、近い将来、公私立とも「破産状態」に陥り、真に充実した保育体制が崩壊し、保育を必要とする人に満足すべき福祉を与えてやることができなくなってしまいます。それこそ福祉の後退であり、その時ではもう遅いのであります。今こそ福祉の本質をみんなで考え、社会の変化に対応した、少くとも将来の方向だけは誤らない施策が必要であると考えております。

次に示した方針によって、保育行政を推進したいと存じております。ぜひ、良識ある市民各位のご理解とご協力を心からお願い致します。なお、説明会と話し合いは地区に出向き開催する予定です。日程等の詳細は別途ご案内致しますので、よろしくお願い申し上げます。

市制施行30周年記念

"わたしたちの郷土・十日町"を考える
絵画、作文・論文コンクール入賞・入選者

表彰を受ける作文・論文の部市長賞 春日顯吉君



◀〈市長賞〉
近藤 智輝(下条小4年)



▲〈市議会議長賞〉
相崎 誠一(吉田小6年)

絵画コンクール入賞・入選者の作品
展示を、十一月十八日(日)まで、クロス
10・2階ギャラリーで行っています。
ご覧ください。



◀〈教育長賞〉樋口 保(十日町中2年)

第35回十日町雪まつり決算報告

59豪雪に次ぐ大雪に見舞われた第35回雪まつりに際して、市民の皆さんから絶大なるご協力をいただき、成功裡に終了することができましたことを心からお礼申し上げます。

遅くなりましたが第35回雪まつり決算を次のとおり報告いたします。つきましては、第36回雪まつりに際しても、皆様のご協力をお願いいたします。

昭和59年11月

第35回十日町雪まつり実行委員会 会長 十日町市長 朝里 正典

第35回十日町雪まつり決算書 (単位:円)

	項 目		決 算 額	説 明
収 入 の 部	委 託 料	16,000,000	市委託料	
	寄 付 金	23,680,200		
	負 担 金	18,000,000	織物組合より	
	雑 収 入	372,704	広告料・その他	
	繰 越 金	78,314	前同より	
	計	58,331,218		
支 出 の 部	総 務 費	3,582,635	会議費、事務費、信託料、礼儀交際費、文書資料費、印刷費、ほか	
	企 画 費	74,360	企画書タイプほか	
	宣 伝 部 会 費	1,698,257	パンフレット印刷費、ポスター印刷費、駅前タワー設置費、ほか	
	催 事 部 会 費	1,313,471	講演会費、開会式等行事費	
	ひろば部会費	3,021,716	ひろば協賛費、ひろば保険ほか	
	カーニバル部会費	44,435,407	カーニバル企画演出費、カーニバル会場製作費、ほか	
	雪の芸術展部会費	3,446,334	賞金・賞品、看板、ほか	
	交 通 部 会 費	469,555	協力隊謝礼、交通案内看板、ほか	
	計	58,241,735		
			繰越金 89,483円	

	No.	入 賞	題	校 名	学 年	氏 名
絵 画 の 部 入 選 者	1	市 長 賞	金 魚 す く い	下条小学校	4	近藤 智輝
	2	市議会議長賞	未 来 の 十 日 町 市	吉田小学校	6	相崎 誠一
	3	教育長賞	絵 付	十日町中学校	2	樋口 保
	4	奨 励 賞	ゆ き あ そ び	名ヶ山小学校	1	羽鳥 哲夫
	5	"	赤 倉 駅 と 電 車	赤倉小学校	2	庭野 竜也
	6	"	雪 の な い 地 下 都 市	十日町小学校	3	金子 隆雄
	7	"	はたおりきかいが盛っているよ	飛騨第二小学校	3	水落 雅美
	8	"	十 日 町 の 工 場	西 小 学 校	4	関口 和明
	9	"	おひゃくしょうさん	吉田小学校	4	相崎 修
	10	"	ぼくたちの十日町	西 小 学 校	5	大熊 一生
	11	"	おひゃくしょうさん	吉田小学校	5	酒井 雅之
	12	"	未 来 の 十 日 町 市	馬場小学校	5	富井 篤志
	13	"	お み こ し	東 小 学 校	6	植家 英之
	14	"	ぼくのスキー用具	川治小学校	6	坂田 賢
	15	"	陸 橋	西 小 学 校	6	西野 博
	16	"	家 の 庭	下条中学校	1	小海 美和
	17	"	雪まつりステージ	十日町中学校	1	西野あゆみ
	18	"	妻 有 の 里	南 中 学 校	3	山本有希子
作 文 ・ 論 文 の 部 入 賞 者	1	市 長 賞	雪豊か水も豊かな十日町	吉田中学校	3	春日 顯吉
	2	市議会議長賞	未来にむけて十日町織物を考える	十日町高校	3	吉沢 政敏
	3	教育長賞	日本一の織物出だす十日町	東 小 学 校	6	喜嶋 枝里
	4	奨 励 賞	織物の町十日町を考える	東 小 学 校	5	二瓶 正幸
	5	"	雪とたたかう十日町	十日町小学校	6	金子めぐみ
	6	"	雪について考えたこと	中条小学校	6	岡田 真希
	7	"	私 の 十 日 町	水沢小学校	6	丸山 恵子
	8	"	ぼくが雪から教わったこと	西 小 学 校	6	西野 篤志
	9	"	私 達 の 郷 土	西 小 学 校	6	小海 じゅん
	10	"	富 国 十 日 町	十日町中学校	3	小林智恵紀
	11	"	十 日 町 雪 祭 り	南 中 学 校	3	小林 浩徳
	12	"	私の心を育ててくれた十日町	南 中 学 校	3	磯崎あかり
	13	"	将来に希望すること	十日町高校	3	酒井 朝子
	14	"	克雪都市づくりに向けて	高 田 町 5	一般	児玉 正男
	15	"	すべての子どもにすばらしい日会を	土 市 第 5	一般	上村 二郎



きもの里を
きもので歩こう

市観光協会主催の「第3回、きもの里をきもので歩こう」が11月3日、秋晴れのもと行われました。17歳から59歳と年齢層も広がりを見せ、秋の行事として一段と定着した感があります。



100枚の写真展に1,500人来館

10月20日から11月4日まで市博物館で開催。年配の方には懐かしい写真の数々。じっと見る姿もあちこちに見られました。

●市制施行30周年記念！ 市民大コンサート

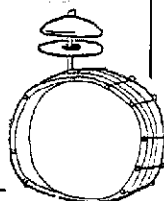
市内の音楽愛好グループによるジョイントコンサート。
30周年記念ならではの組み合わせをお楽しみください。

月と き 11月18日(日)午後6時30分
開演(6時開場)

#ところ 十日町市市民会館ホール

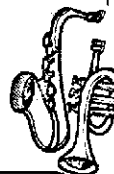
♪入場料 大人300円、中高生200円
(この入場料は国際交流文化スポーツ基金にあてられます。)

最近の楽譜出版社CMCのハーモニーのコーナーでも取り上げられ、高い評価を受けました。来年8月、新潟で行われる「ジャズフェスティバルIN新潟」にも出場が内定しています。ラ・バンデ・グランデほか6曲を演奏します。
アップビーツJ.O



今年設立10周年を迎えました。団員は45人。初心者から狂の字がつくものまでいます。定期演奏会や、市の各種行事などで、すっかりおなじみ。今回はアラバマー序曲ほか2曲をおとどけします。

十日町市民吹奏楽団



今年で18歳になります。現在団員は40人。市外からも通っており、20歳代から熟年の奥様まで……。歌う曲もラテン語から童謡まで多岐にわたり、年輪の厚さを物語っています。今回は無伴奏の曲を6曲おくりします。

十日町市民合唱団



地域のお茶の間 拝見

◆6◆

下条における地域づくり

— 下条地区公民館 —



地域づくり家庭づくり研究集会

集会のまとめ(冊子)の中で、集会所、地域の諸問題を話しあいます。

下条のコミュニティ活動として、地区民体育祭、桜まつりや雪まつり、各種スポーツ活動などのほか、問題提起の場、話しあいの場としての「地域づくり家庭づくり研究集会」があります。今年で六回目を迎えるこの集会所は、毎年収容が一段落した頃、公民館に老若男女約一〇〇人が集い、地域の諸問題を話しあいます。

当時の館長は「地域には諸種雑多の問題がある。政治という名の行政ですべてを解決することはできない。地域民の自覚と連帯意識を促すことが先決である。そのためには、話しあう心と、話しあう問題点と、話しあいの場とを考えなければならぬ。一般論なら評論家の講義で事は済むけれども、それでは身近かなものにはなり難い。(後略)」と書いています。

この集会の良さは、個人としてだれもが自由に参加でき、地域の問題解決のために話しあうことができることと、世代を超えた人達の集まりだから、老若男女の考え方の相違を理解しあう場ともなっていることです。冠婚葬祭の取り決め、振興会の方向づけなどもここから生まれてきたのでした。

しかし年一回、一〇〇人の人が話しあうだけでは全体のものとしての地域づくりにはつながらない。話しあわれたことをどう広く地域全体に知らせ、一つ

過去の五回の集会所で、地域医療、老後問題、各種団体のあり方、子どものしつけや青少年育成問題、冠婚葬祭簡素化、バイタリティ事業などが話しあわれました。

この広報紙は、年六回(一回が六ページ)の発行ではありますが、先に第四十六号が出されました。コミュニティ・シヨンの材料として、地区内の情報源として人と人とを結ぶ橋の役割を果たしています。アンケートからも成人の八〇%が目を通し、かなりの人が保管しておくといわれています。

の活動として安着させるかは他の手段によるところが大きい。その役割を果たしている一つに「広報紙」があります。この広報紙は、年六回(一回が六ページ)の発行ではありますが、先に第四十六号が出されました。コミュニティ・シヨンの材料として、地区内の情報源として人と人とを結ぶ橋の役割を果たしています。アンケートからも成人の八〇%が目を通し、かなりの人が保管しておくといわれています。



広報紙よう

たいいく・スポーツ コーナー

市体育課 ☎57-3111③326
市民体育館 ☎57-5208

としのこ
星名 聡彦 くん(南中1年)

ジュニアオリンピック堂々第2位!!

10月27~28日に国立競技場、霞ヶ丘陸上競技場で行われた「第15回ジュニアオリンピック陸上競技選手権大会」において、星名聡彦くん(南中学校1年)が「ボール投・Cクラス」で74m24cmを投げ、見事2位になりました。

ミニバスケットボール実技講習会

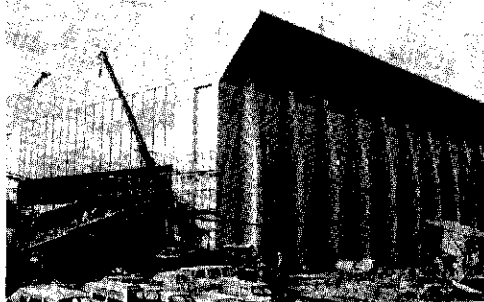
●日時 12月2日(日)

午前9時受付 10時開会

お知らせ

屋外体育施設は11月中に閉場します。
なお、笹山球場は芝の養生のため11月5日に閉場しました。

総合体育館竣工(12月23日)間近



昨年9月より工事が進められていた総合体育館が、いよいよ12月23日に竣工の運びとなりました。

この体育館は県下ではじめての本格的克雪型体育館であり、屋内グラウンド、ランニングコースなどが常設され、年間を通して活動ができるようになります。

市内の体育・スポーツ人口も年々増加し、体育施設も手狭になりつつありましたが、今後は活動の中核施設としての活用が期待されます。

施設の概要 (鉄筋コンクリート一部鉄骨造3階建)

＜1階＞ 屋内運動場(野球、陸上、サッカー、ゲートボールほか) トレーニング室 親子幼児健康室 卓球練習室(4台常設)ほか

＜2階＞ アリーナ(バレーボール3面、バスケットボール2面、バドミントン10面、テニス2面) 選手控室 ほか

＜3階＞ 観覧席(560席) ランニング走路(165m) 会議室 ほか

竣工式典

12月23日(日)午前9時30分～

- ・スポーツ健康都市宣言
- ・タイムカプセル埋蔵ほか

竣工記念試合

—第18回バスケットボール
日本リーグ(女子)十日町市大会—

◆12月23日(日) ◆試合開始: 正午

第1試合 三井生命—東 芝
第2試合 第一勧銀—シャンソン

◆入場券(前売り)

一般 1,500円 高校生 800円
中学生 500円 小学生 300円

◆販売所 市民体育館 市体育課 ほか

【お願い】

- ・会場は土足厳禁です。上履をご用意ください。
- ・駐車場に限度がありますので、自家用車はご遠慮ください。

第18回 市民スポーツ大会結果

種 目	種 別(参加数)	1 位	種 目	種 別(参加数)	1 位
陸 上	職 場(9チーム)	消防署 A 56分38秒	相 撲	団体戦(5チーム)	川 治 小 学 校 A
	地 域(14チーム)	新 庄 B 57分47秒		個 人 5 年 生	渡辺雅朗(川 治)
	学 生(6チーム)	上 高 A 55分39秒		〃 4 年 生	熊 木 宏(十日町)
	女 子(9チーム)	十美スキー部 49分21秒		〃 3 年 生	柳 典孝(十日町)
野 球	チャンピオン大会(7チーム)	織 物 組 合	柔 道	一 般 無 差 別	村 山 寿 規
	小学生の部(7チーム)	竹の子ファイターズ		〃 初 段	中 山 仁
五年生以下(7チーム)	ブルーファイターズ	〃 無 段		滝 沢 徹	
バスケット ボール	男子の部(17チーム)	南 陵 ク ラ ブ		中学生 3 年 生	上村 重来(水沢)
	女子の部(4チーム)	十 日 町 ク ラ ブ		〃 2 年 生	川田 勝彦(水沢)
軟式野球	一般男子A(17ペア)	湯沢一彦・樋口和之		〃 1 年 生	金沢 直哉(水沢)
	〃 B(6ペア)	石沢房一・庭野恭明		小学生 5・6年生	山口 晋(西)
	一般女子A(12ペア)	柳美千代・大島弘子		〃 3・4年生	熊 木 宏(十日町)
	〃 B(5ペア)	滝沢明美・南雲智美	〃 1・2年生	大家 大介(東)	
	婦 人 A(13ペア)	水落静子・高橋佑子			
〃 B(9ペア)	佐藤崇子・吉本しず志				
硬式 テニス	男子シングルス(25名)	渡 辺 淳 一	剣 道	小学生低学年(14名)	榎 沢 賢 司
	女子シングルス(25名)	阿 部 澄		〃 高学年(28名)	金 井 正 則
卓 球	一般男子(46名)	尾 身 豊		中学生 男 子(22名)	星 名 勲
	一般女子(27名)	小 海 由 起		〃 女 子(14名)	無 木 則 子
	シニア男子(12名)	石 井 茂 弘	高校生 男 子(20名)	江 村 正 樹	
	中二男子(36名)	田 川 貴 弘	〃 女 子(16名)	宮 内 明 子	
	〃 女子(28名)	池 田 真 理			
	中一男子(34名)	大 島 隆 隆			
〃 女 子(24名)	樋 口 陽 子				
排 球	ババママババ(9チーム)	十 日 町 ク ラ ブ	空 手	中・高男女型個人(34名)	西 野 弘 幸
バドミントン	男子Aダブルス(18ペア)	今井良彦・斉本正弘		高 学 年 型(25名)	人 田 里 美
	女子A 〃 (9ペア)	大町啓子・山岸篤美		低 学 年 型(23名)	高 橋 智 智
	男子B 〃 (22ペア)	根津岳夫・大口修一		団体型(17チーム)	吉 田 小 学 校
	女子B 〃 (10ペア)	村山まり子・出口芳子	中・高男子組手(21名)	林 靖 浩	
	男子Aシングルス(32名)	今 井 良 彦	〃 女子組手(14名)	柳 悦 子	
	女子A 〃 (14名)	金 沢 あ ず さ			
男子B 〃 (45名)	田 村 孝 雄	体 操	中学生男子総合(40名)	佐藤孝幸(南中) 25.75	
女子B 〃 (16名)	山 口 ス ミ エ		〃 女子総合(44名)	庭野久子(十中) 21.58	
			一般・高校生男子団体(34チーム)	一 般 チーム	
			〃 女子団体(24チーム)	十 日 町 高 校	
		〃 男子総合個人(10名)	蔵 品 徹 32.20		
		〃 女子総合個人(7名)	小川 明 子 31.00		

グループ紹介

高山松寿会

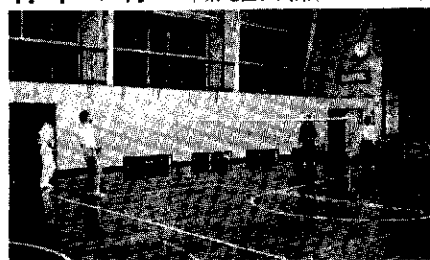
代表 村山 景治
(春日町1 ☎32-3098)



私達は「会の和、健康保持」を目的として、ゲートボールをやっています。部員20人、勝負は二の次ですが、10月16日の高齢者ゲートボール大会で優勝した時は、部員一同、たいへんな喜びようでした。今後も和を大切に健康に心がけてがんばります。

青年の村

問い合わせ
中条地区公民館(☎52-2748)



中条地区公民館が主催している青年講座です。市内各地より集まっており、毎週水曜日に中条小で、バドミントンとバレーボールをしています。今は11月18日に行われる十日町青年学級と青少年ホームとのバレーボール交流会に向け、猛練習中です。

11月の交通安全キャンペーン

～夜間の交通事故に
気をつけましょう～

- ◎スピードはひかえめに!!
- ◎飲酒運転をしない、させない!!
- ◎横断は安全を確かめて!!
- ◎反射材の活用を!!

●歩行者、自転車乗りの交通事故防止
安全の第1は運転者からよく見えることです。外出する際は、なるべく明るい服装で「懐中電灯」や「反射材」を利用し、事故にあわないようにしましょう。

●夕暮れどきの交通事故防止運動実施中

10月中の交通事故発生状況(昭和58年)

市町村名	件数	死者	負傷者
十日町市	14(9)	0(0)	19(9)
川西町	1(1)	0(0)	2(1)
津南町	5(4)	1(0)	7(4)
中里村	1(2)	0(1)	1(1)
小計	21(16)	1(1)	29(15)
累計	135(152)	5(6)	173(181)

ボランティア・スクール



「ボランティア活動を
始めようとする人のために」

- とき 11月17日(土)午後1時半～
- ところ クロス10・中ホール
- 講師 吉沢英子先生(わが国の第一人者。わかりやすく、はぎれのよい話はどこでも好評です。)

●東洋大学教授、東京ボランティアセンター所長。ボランティアビュローの設置を推進し、行政と住民の協働を主張している。

ボランティア交流会
クリスマスパーティのお誘い

- とき 11月25日(日)午後1:30～3:30
(受付 12:30～)
- ところ クロス10
- 参加対象者 障害者、市民、ボランティア
- 参加料 大人1,000円、当日持参
子ども 500円
- 申込方法 ハガキまたは電話で、氏名、町名、障害の有無、送迎の有無などをご連絡ください。
- 申込締切り 11月20日(火)
- 申込先 十日町市社会福祉協議会
(市・福祉事務所内、☎57-3111②134)



宮型霊きゆう車を導入

9月1日から運営を開始した向栄利雲きゆう公社では、新潟運輸局に宮型車の増車申請を行っていましたが、このほど許可され、11月1日から運行しています。購入価格は約1,000万円、利用料金は基本額で普通車の8,300円に対して9,100円となります。詳しくは、同公社(☎52-5169)へ。なお、利用申し込みはこれまでどおり市・市民生活課窓口で。

新潟県職業訓練展を開催

- 会場 クロス10(本町6)
- 展示日 11月17日(土)、午前10時半～午後4時
- 即売日 11月18日(日)、午前10時～午後3時
- 展示物 職業訓練の紹介を写真、パネル、教材、実習作品で展示。視聴覚機器の展示、実演。
- 相談コーナー 職業訓練、技能検定
- 即売品目
(金属製品)フラワースタンド、脚立、植木台など
(木工製品)本箱、洋服ダンス、電話台、はしごなど
(繊維製品)絆、塩沢紬、ゆかた、スカートなど
(その他)硯箱、銘々皿、丸盆、灯籠など
- 主催 新潟県、雇用促進事業団、新潟県職業能力開発協会

雇用保険の加入手続きは
お済みでしょうか

雇用保険は、1人以上の労働者を雇用している事業主は、加入することを義務づけられています。(ただし農林水産業の一部を除く)

加入手続きの済んでいない事業主の方は、早めに手続きをしてください。お近くの事業主団体で作っている労働保険事務組合でも手続きがとれます。

——十日町公共職業安定所(☎57-2407)——

学習会と作品展示即売会開催

県立月岡養護学校魚沼分校と魚沼更生園では、つきにより学習会と作品展示即売会を開催します。ぜひおでかけください。

- 日時 11月22日(木)
- 魚沼更生園展示品観覧および即売
8:50～9:30、12:00～13:00
- 魚沼分校学習発表会
9:45～12:00
- 会場 魚沼学園体育館(北魚沼郡小出町)

健康づくりのつどい

自強術普及会十日町支部などでは、健康体操普及活動5周年を記念して「健康づくりのつどい」を開催します。お問い合わせください。

- ◎とき 11月17日(土)午後0時半～4時
- ◎ところ 十日町市民館
- ◎内容 ●記念のつどいと講演
○1 時～いっしょに体操・自強術を
○2 時～記念のつどい
○2 時半～講演「婦人の健康～食と運動と心と～」…講師:古藤恭生先生(津南病院院長)
○3 時半～お楽しみくじ引き
●成人病、特に高血圧と糖尿病の食事
○0 時半～4 時 展示と栄養士による栄養相談

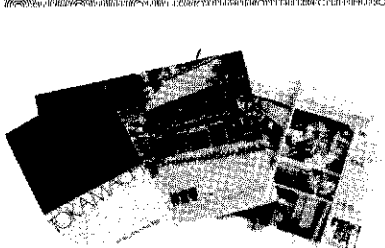
昭和60年度 心身障害者
開設予定の 通所施設

- 身体障害者通所授産施設・さんわ荘(仮称)…長岡市三和1丁目4番43号、定員20名
 - 身体障害者通所ホーム・さんわの家(仮称)…長岡市三和1丁目4番43号、定員10名
 - 精神薄弱者通所授産施設・堀之内工芸(仮称)…堀之内町大字堀之内字古長沢、定員20名
- ※いずれも通所が可能な人が対象です。
詳細については市・社会福祉事務所支援係(☎57-3111②133)へお問い合わせください。

カブスカウト隊員を募集

ボーイスカウト十日町第1団では、カブスカウトの隊員【小学校2年生(3学期)以上～】を募集しています。申し込み、問い合わせは、第1団委員長小林賢秀さん(☎52-3123)へ。

'84市勢要覧を発行



十日町市では、市勢全般をカラー写真で表現した'84十日町市勢要覧を発行しました。本文44ページ、統計資料編20ページの構成です。申込み・問い合わせは市・総務課企画広報係(☎57-3111②214)まで。

保育所入所申請を受付

市社会福祉事務所では、昭和六十一年四月、保育所に入所を希望する児童の受付を、次のとおり行います。

受付期間 十一月十二日(月)～十一月二十四日(木)まで。
入所資格 十日町市に住民登録してあって、保育に欠ける児童。
申し込み・問い合わせ 市・社会福祉事務所福祉係(☎五七―三一一)へ。

公私立	施設名	住所	定員
公	十日町保育所	学校町1	70
"	鏡島保育所	南鏡坂	70
"	高山保育所	錦町2	90
"	川治保育所	川治上町	120
"	下条保育所	下条本町	60
"	十日町西保育所	下川原町	120
"	北原保育所	北原	45
"	水沢保育所	土市第2	120
私	十日町幼稚園	本町西1	90
"	北越保育園	本町6-1	90
"	四日町保育園	四日町2	90
"	山本愛泉保育園	山本2	90
"	森の保育園	大黒沢東	90
"	いずみ保育園	昭和町3	90
"	中条保育園	中条中町	90
"	慈光保育園	北新田1	90

降雪前のくみ取りはお早めに!! ―衛生施設組合―

毎年降雪前になると、くみ取りの申し込みが殺到します。清掃業者の搬入能力や衛生センターの処理能力にも限度があります。この時期の搬入量は平常の2倍以上になり、処理能力の30%のオーバー処理をしなければなりません。

降雪前のくみ取りは申込順と降雪時の道路事情をもとに町内計画収集を行いますので、申し込み後、多少の遅れもありますが、ご理解をお願いします。なお、くみ取りの邪魔にならないよう、便槽内には物を捨てないようにしてください。

くみ取りの申込みは、するがや清掃社(☎52―2018)、津南清掃社(☎52―3707)、下条清掃社(☎55―2046)、川西清掃社(☎68―3155)へ。

寄付ありがとう

入所選考 申請書類、面接によって行い保育に欠ける度合で入所決定しますので、施設定員を超えて入所申請があった場合は、希望する施設に入所できないことがあります。

国際交流文化スポーツ基金 寄付ありがとう
十月末現在：一、六〇五万七、六三七円

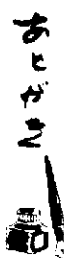
- ▼柳澤泰 三〇〇万円 ▼樋口熊蔵(中条旭町)二万円 ▼小林厚子(加賀糸屋町)五、〇〇〇円 ▼吉沢織物㈱ 一〇〇万円
- ▼十交タクシー従業員一同 五、六一五円 ▼長津国吉(山本)一万円 ▼川原町長楽会有志 九、〇〇〇円(産品回収)
- ▼樽お客一同 三万四、五五三円 ▼羽根川茶窓口募金箱 一、一四五円 ▼土市老人クラブ 一、一〇〇円 ▼小泉老人クラブ 一、一〇〇円 ▼旭翔会 一、一〇〇円 ▼渡辺健一(山)

谷(三万円(香典返し) ▼宮入紀彦(川崎市)十万円(香典返し) ▼鈴木慎二、スミ(袋町東)十万円(香典返し) ▼松沢隆司(丸山町)三万円(香典返し) ▼柳佐藤工務所(田川町二)十万円(香典返し) ▼レクリエーション同好会 一万一〇〇円 ▼十日町ライオンズクラブ 二万三、八〇〇円 ▼母子福祉いつ美会 五、二二〇円 ▼ボランティアリンク花園グループ 二万九四六円以上 障害福祉事業へ ▼庭野重信(西寺町)二万円 ▼春川 二、〇〇〇円 ▼長津国吉(山本)五、〇〇〇円以上王滝村へ ▼金井登美十町社中 二〇万円 ▼福祉事業へ 二〇万円 ▼クロス10へ ▼花柳花春 一〇万円 ▼関口四郎(昭和町)保健体操八百五十部 ▼佐藤洋品店ザブトン十二枚、四ツ宮荘へ

停電のお知らせ

▼十一月十二日(木) 午前八時～正午 馬場第一・第二・第三、第四 水沢第一・第二・第三、南鏡坂の全部 ▼十一月二十九

水沢市之沢、中在家、大石、南雲の全部 ▼十一月二十二日(木) 午後一時半～四時 学校町一丁目的一部、学校町二丁目の全部 ▼十一月二十七日(火) 午後四時半～四時 稲荷町四丁目、稲荷町三本通り、稲荷町三北、丸山町、本町六丁目二、昭和町四丁目、旭町の各一部、稲荷町二丁目、稲荷町三南の全部 ▼十一月二十八日(水) 午前八時～正午 高島第一の一部、北鏡坂第三、南鏡坂の全部 ▼十一月二十九



冬期間の月ぎめ有料駐車希望者を募集中

今冬から、クロス10の駐車場(消雪パイプ完備、無雪)を、冬期間のみ月ぎめ有料駐車場として、次の条件で一般の方に利用していただくことになりました。ご希望の方は申し込んでください。

- 契約の期間 昭和59年12月1日～昭和60年3月31日までの4ヵ月間。ただし、雪まつり(2月9・10・11日)を除きます。
- 駐車料金 4ヵ月2万円(月5,000円)
- 駐車予定台数 50台
- 申込み場所 十日町地域地産産業振興センター(本町6丁目、☎57―2323)